

## 1. 画面に表示される文字の大きさの調整

### ◎ irb.bat

irb.bat のアイコンを右クリック → プロパティ → フォント → サイズと進んで好きな大きさに設定する。標準は 12 ぐらいだが 30 で驚いてみるのも良い。実際にどのサイズにするかは手持ちのコンピュータの画面の解像度などで判断を。

### ◎ TeXworks

- エディタ部分は フォーマット → フォント → サイズと進んで好きな大きさに。(但し TeXworks の再起動が必要かも。)
- プレビュー画面での文字の大きさ(見かけ上)は  
ctrl + - (ctrl キーを押しながら-キーを打つ) で小さくなり、  
ctrl + shift + - (ctrl と shift を押しながら-キーを打つ) で大きくなる。

## 2. TEXDOC フォルダ用の設定

(この講義では c:\texdoc を何でも屋のフォルダとして使用しています。それ専用の設定です。)

◎ c:\texdoc へのショートカットをデスクトップにおいておく。

———— irb.bat の texdoc フォルダへの対応 ————

irb.bat のアイコンを右クリック → 編集  
と進んで irb.bat を編集し、

```
@ECHO OFF
IF NOT "%~f0" == "%f0" GOTO :WinNT
ECHO.This version of Ruby has not been built...(略)...
GOTO :EOF
:WinNT
set RUBYLIB=c:/texdoc
@"%~dp0ruby.exe" "%~dpn0" %*
```

のように、最後から二番目の行 set RUBYLIB=c:/texdoc を付け加える。もしくは、講義のページから irb.bat(この講義用) をダウンロードし、c:/Ruby22/bin/irb.bat と差し替えても良い。

参考:ダウンロードの仕方:

- firefox の場合: 保存したいファイルに設定しているリンクを右クリックし、「名前をつけてリンク先を保存...」をクリック。
- IE(インターネットエクスプローラ) の場合: 保存したいファイルに設定しているリンクを右クリックし、「対象をファイルに保存」をクリック

### 3. RUBY 最初の一步

ruby による 階乗の計算の例 1. とりあえず計算できればよいという場合。

notepad 等で次のような内容のファイルを c:/texdoc に作成し、f1.rb という名前で保存。irb から load("f1.rb") すればよい。(うへの四角で囲んだ設定をしている場合。)

```
x=1
for i in 1..10 # 10 のところを変えればいろいろな数の階乗を
計算できる。
  x=x*i
end
p x
```

ruby による 階乗の計算の例 2. 何度も階乗を使いたい場合。

notepad 等で次のような内容のファイルを c:/texdoc に作成し、f2.rb という名前で保存。irb から load("f2.rb") と打ってこのファイルを読み込ませ、そのあと f(10) などとすれば良い。一旦読み込ませたら、あとは何度でも f(20) などと階乗を計算できる。

```
def f(n) # f という関数を定義して使う。
  x=1
  for i in 1..n
    x=x*i
  end
  return(x)
end
```

もちろん、階乗ごときに  $f(n)$  という関数名を使うのはもったいなすぎる。下のように factorial(n) などという名前にしておくのが良いだろう。

```
def factorial(n)
  x=1
  for i in 1..n
    x=x*i
  end
  return(x)
end
```

f1.rb および f2.rb は講義のページにも置いてあるので必要に応じてダウンロードして用いても動作確認等になって良いだろう。なお、講義 No 13-15 においても ruby は使う予定である。先取りしてチャレンジしても良いし、他の web で勉強するのも更に良いことだろう。